

急性胃腸炎（嘔吐下痢症）



ウイルスや細菌に感染して、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を起こします。吐くのは最初の1～2日で、発熱することもあります。その後、下痢になり、多くは1週間くらいでよくなります。

ウイルス性

ロタ、ノロ、アデノなど、抗菌薬は効果ないどころか、腸内細菌のバランスをこわして下痢がひどくなることがあります。

細菌性

カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなど激しい激痛や高熱、血便がでることもあります。



家庭で気をつけること



水分補給が大事

経口保水液や母乳（ミルク）を5分おきに5～10mlずつ飲ませていきます。3時間以上吐かなかつたら、自由に飲ませてよいです。食事ができるようになれば、経口保水液はやめてよいです。

吐いたものの処理

できるだけ早く処理します。100倍に薄めた塩素系漂白剤を浸したペーパータオルでふき上げてください。処理をした後は、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。

幼稚園・保育所・学校

嘔吐、下痢が落ち着き、元気や食欲があれば、登園・登校できます。

もう一度診察してね

- + 強い脱水症状がみられるとき
（泣いても涙が出ず、目がくぼんでいる
・口の中や舌が乾いている・皮膚が冷たい、
白っぽい、色が悪い・おしっこが12時間以上でていない・ぼーっとしている）
- + 6時間以上続けて吐いている
- + 吐いたものが緑色のとき
- + お腹をひどく痛がる時
- + 血便が出たとき



神戸百年記念病院 附属

すこやかクリニック

文献：医歯薬出版株式会社

「ママ&パパにつたえたい

子どもの病気ホームケアガイド」より